



1908年日本からブラジルへの集団移住が始まり、2008年日伯交流は100周年を迎えた。また1953年、和歌山県から戦後移民の第一陣として22家族112人がマットグROSS州・松原移住地に渡り、翌1954年に発足したブラジル和歌山県人会は、2009年に55周年を祝った。この日伯交流の歴史を踏まえ、和歌山県海南市出身であり、現在ブラジルに移住し、青少年育成のために「自然塾」を開いている小野田寛郎氏から、ブラジルの生活の様子や青少年へのメッセージとして「共に生きる」ということをテーマにご講演いただく。

DESIGN M.K.

主催：和歌山大学観光学部 / (財) 和歌山県国際交流協会
和歌山県中南米交流協会
後援：和歌山県 / 和歌山市 / 和歌山県教育委員会
協力：和歌山大学紀州経済史文化史研究所

小野田寛郎講演会

人は一人では 生きられない



2010
10.18 (月)

13:10~14:40

和歌山大学経済学部講義棟 E101 教室
(和歌山市栄谷930)

【申込方法】

電話またはfaxで「住所・氏名・電話番号・fax番号」を明記の上、和歌山大学観光学部まで、お申込みください。

定員：先着 **360** 名 (定員になり次第、締め切りとなります)
申込受付開始：10月4日 (月)

*応募にあたり入手した個人情報は、個人情報保護要綱に基づいて厳重に管理し、第三者への開示や情報提供は行いません。

【問合せ先】

和歌山大学観光学部

tel:073-457-8547 fax:073-457-8540
http://www.wakayama-u.ac.jp/

講師：**小野田 寛郎** 先生
財団法人 小野田自然塾理事長



1922年	3月	和歌山県亀川村 (現・海南市) に生まれる。
1944年	1月	久留米第一予備士官学校に入学。
	12月	フィリピンに派遣。比島派遣。軍司令部参謀部付。
		ルバング島に派遣。遊撃指揮・残置隊者の任務を与えられる。
		以来、30年間任務解除の命令を受けられないまま戦闘を続行。
		作戦任務解除命令を受け日本に帰還。
1974年	3月	ルバング島の経験を生かし、キャンプを通して青少年育成のため「自然塾」を開校。
1984年	7月	文部大臣より社会教育功労賞を受賞。
1999年	11月	藍綬褒章を受章。
2005年	11月	

関連イベント
「虹の架け橋―和歌山からブラジルへの移住者たち」
2010.10.6(水)~27(水) 和歌山大学附属図書館1F 展示コーナー
主催：和歌山大学紀州経済史文化史研究所、和歌山県中南米交流協会